

チオファネートメチル水和剤に対するダイズ紫斑病高度耐性菌を確認

福島県農業試験場 病理昆虫部
平成16年度農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稲－水稲－病害虫防除
分類コード 01－01－23000000

2 担当者

山田真孝・根本文宏・松木伸浩

3 要 旨

- (1) 県内でダイズほ場で紫斑病に対する薬剤防除の効果低下が問題となっている。そこで、県内で広く普及しているチオファネートメチル水和剤に対する耐性菌の存在の有無について検討した。
- (2) 単菌胞子分離した菌株をPSA培地に25℃7日間培養して、得られた菌叢ディスク(直径4mm)を用いた。有効成分濃度が1、10、100、1000ppmになるように各薬剤を添加したPDA培地に菌叢ディスクを置床した。25℃、暗所に4日間静置後に、菌叢直径を調査した。
- (3) 今回検定を行なったすべてのほ場で、有効成分が1000ppmでも菌糸が生育する高度耐性菌が分離された。
- (4) 以上のことにより、チオファネートメチル剤に対する高度耐性菌が福島県内でも存在することが確認され、このことが防除効果低下要因の1つと考えられた。

4 その他の資料等

なし